

CINGAと 多文化共生を考える1日

2023年2月1日（水）@アーツ千代田 3331



2022年は難民・避難民の受け入れや労働市場における外国人人材活用など、多文化共生事業を推進する中では激動の年でした。6月には出入国在留管理庁が「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」を発表し、共生社会のビジョン、その実現に向け取り組むべき中長期的な課題及び具体的施策等を示し、社会参画のための言語保障や、ライフステージ・ライフサイクルにあった生活オリエンテーションなど、様々な指針が言語化されました。そのような中、各自治体や地域社会は、どのようなマインドを持ち、具体的な事業を作っていくのが良いのでしょうか。

様々な事例を見ながら、皆さんとともに考える一日としたいと思います。

午前の部（10:30～13:00）

第1部 移民受入先進国ドイツの事例から、 日本における共生を考える

昔農英明（明治大学文学部 准教授）



昔農英明

ドイツの移民政策について国際社会学の観点から研究。主要な著書『「移民国家ドイツ」の難民庇護政策』（単著・慶應義塾大学出版会・2014年）

第2部 ランチセッション 市民活動の実践現場より、 コーディネーター像を考える

栗林知絵子（認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKU
ネットワーク 理事長）



栗林知絵子

2004年より池袋本町プレーパークの運営に携わり地域活動を始める。自他共に認める「おせっかいおばさん」

第3部 CINGA発信ツールの紹介

キーワードでたしかめる
「日本の制度」



午後の部（13:30～16:30）

—地域日本語教育のこれから— 5地域での

「CINGA日本語学習支援者研修プログラム普及事業」から見えてきているもの

発表者 CINGA地域日本語教育学習支援者育成カリキュラム普及事業委員

神吉宇一、矢崎理恵、矢部まゆみ、山西優二、萬浪絵里、西山陽子

※登壇者名敬称略

主催

特定非営利活動法人

国際活動市民中心 **CINGA**

TEL 03-6261-6225 FAX(共有) 03-6261-6280
mail info@cinga.or.jp <http://www.cinga.or.jp>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センタービルオフィス 6F
6F kandakoshocenter bil, 2-3 KandaJinbocho Chiyoda-ku Tokyo, JAPAN
最寄駅 東京メトロ神保町駅 A6出口徒歩1分

※電話対応ができないときは留守番電話になります。折り返し電話を
しますので、メッセージに所属、氏名、連絡番号を必ず残して下さい。

CINGA
で検索 🔍